

News Release

2023年1月23日

復建調査設計株式会社

アイサンテクノロジー株式会社

株式会社ティアフォー

損害保険ジャパン株式会社

KDDI 株式会社

高田松原津波復興祈念公園で自動運転サービスの運行開始

～2022年9月から走行範囲を拡大し、本格運行開始を目指す～

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）、復建調査設計株式会社（本社：広島県広島市、代表取締役社長：來山 尚義）、株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）、損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：白川 儀一）、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋 誠）の5社は、岩手県陸前高田市の委託を受け、2023年2月より、高田松原津波復興祈念公園（岩手県陸前高田市）において東日本大震災伝承活動に貢献する自動運転サービス（以下 本運行）を開始します。

本運行は、2022年9月に実施した自動運転走行実証実験（注）のルートに、タピック45および下宿定住促進住宅にもルートを拡大し走行します。パークガイドが車両に同乗し、園内に点在する東日本大震災に関連する施設を紹介します。走行環境の確認および受容性を検証し、2025年度に本格運行開始を目指す計画です。



＜高田松原津波復興祈念公園園内マップ＞

<https://www.aisantec.co.jp>

News Release

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災の津波による犠牲者への追悼などを目的とした復興祈念公園です。復興のシンボルである「奇跡の一本松」や震災の脅威を伝える震災遺構「気仙中学校」などのさまざまな施設が130ヘクタールの広い敷地内に点在しています。高田松原津波復興祈念公園は東西で約7kmの距離があり、徒歩ですべての施設を見学することは困難です。

本運行では、環境にやさしい10人乗りの小型自動運転EVバス（以下「EVバス」）が、園内に点在する施設を巡ります。パークガイドも車両に同乗し、より効果的に震災における教訓の理解を促す環境を作ります。5社は、EVバスの遠隔監視による自動運転を行い、公園内における走行環境の確認やサービス面での課題抽出を実施します。また、利用したお客さまを対象とした受容性調査も行います。

5社は、自動運転車を活用し陸前高田市の震災伝承活動に貢献するとともに、将来的には自動運転車を陸前高田市内の公共交通などへ展開し、地域コミュニティ形成などの課題解決を目指します。

1. 実証実験の概要

実証地域および運行スケジュール	岩手県陸前高田市
	2023年2月1日（水）から3月5日（日） 道の駅高田松原～奇跡の一本松～気仙中学校入口～タピック45～松原大橋～最上堂橋～下宿定住促進住宅ルート（走行距離往復約7.5Km） ※原則月曜日運休（ただし、祝日は運行し、その場合は翌日運休） 走行時間：9時から16時30分まで
実証内容	EVバスを活用した自動運転サービスの実用化に向けた走行環境の確認やサービス面での課題抽出と受容性の調査
特徴	<ul style="list-style-type: none">10人乗りEVバスを用いて運行（※試乗者は7名まで乗車可）ドライバーが運転席に乗車をする「非遠隔型自動運転」運行について、平日は巡回運行でどなたでも乗車可能、土日祝の一部時間帯は、パークガイド付の運行となり、パークガイド付のみ予約制となります。 予約及び運行内容に関しては、下記URLよりご確認下さい。 https://aisantec.form.kintoneapp.com/public/6d5a96af5679a761ad79f40593078431f31554ff612c2f1dd2e7a86ccdd2d305
	 (予約用QRコード)
	<ul style="list-style-type: none">走行速度は最大速度20km/h未満

・最終的な実証実験ルートや実施時期は、今後の状況により変更する可能性があります。

News Release

2. 事業実施体制

別途、(一社)陸前高田市観光物産協会がパークガイドの派遣を行います。

参加予定企業名等	主な役割
陸前高田市	事業主体
復建調査設計株式会社	事業計画、調整
一般社団法人陸前高田グリーンスローモビリティ	自動運転ドライバーの派遣、自動走行運営
アイサンテクノロジー株式会社	自動走行運営主体、高精度 3 次元地図の作製
株式会社ティアフォー	自動運転 OS Autoware [※] の運用支援
損害保険ジャパン株式会社	自動運転リスクアセスメント、自動運転専用保険の提供
KDDI 株式会社	通信ネットワークの構築、提供

※Autoware は、The Autoware Foundation の登録商標です。

3. 実証車両

車両	イメージ	説明
EV バス (1 台)		自動運転 OS Autoware を用い、あらかじめ計測したアイサンテクノロジー株式会社の高精度 3 次元地図を用いて走行します。

4. 本件に関するお問い合わせ先

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 7 番 14 号 AT ビル
アイサンテクノロジー株式会社 モビリティ事業本部
TEL 052-950-7500

〒140-0001 東京都品川区北品川 1-12-10 ジャコムビル
株式会社ティアフォー 広報担当
メール pr@tier4.jp

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目 26 番 1 号
損害保険ジャパン株式会社 広報部 担当：徳永
TEL 070-3953-6982

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋 3-10-10 ガーデンエアタワー
KDDI 株式会社 広報部

(注) 2022 年 8 月 26 日 地域共創トピックス

東日本大震災伝承活動に貢献する自動運転サービス実証を実施
～小型自動運転 EV バスで高田松原津波復興祈念公園の施設を巡回～
<https://www.kddi.com/corporate/sustainability/regional-initiative/pressrelease/20220826/>